

平成23年3月29日

独立行政法人理化学研究所  
理事長 野依 良治

独立行政法人理化学研究所における平成21年度動物実験実施状況等に係る  
自己点検・評価について

研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針（文部科学省告示第71号）（以下「基本指針」と言う。）を踏まえ、当研究所における規程等の整備状況及び平成21年度動物実験実施状況等について同基本指針への適合性の観点から自己点検を行った結果、下記のように評価しました。

記

1. 規程類は、組織改編に伴う文言の修正が行われたが、体制への影響は無く、平成20年度に点検・評価したとおり、適正であると評価した。
2. 平成21年度中に各事業所で提出された実験計画申請及び動物実験報告は、各審査委員会において審議、確認を受け各研究所長により承認等されていることを確認し、適正であると評価した。【別紙1】
3. 平成21年度中に各事業所で提出された施設の登録申請及び飼育管理報告は、各審査委員会において審議、確認を受け各研究所長により承認等されていることを確認し、適正であると評価した。【別紙2】
4. 平成21年度中に各事業所で実施された動物実験従事者等の教育講習及び登録は、各事業所の動物実験監督者の報告から、いずれも適切に履行されていることを確認し、適正であると評価した。【別紙3】
5. 平成21年度の各動物実験審査委員会の構成は、基本指針に適合していると判断し、適正であると評価した。【別紙4】
6. 平成20年度動物実験実施状況等に係る自己点検・評価において検討を要するとした事項については、平成21年度中に各事業所でそれぞれ必要に応じ次の対応を行った。
  - (1) 動物実験従事者等の更なる資質向上を図るため、各事業所における自己点検・評価結果の結果を踏まえた再教育訓練を実施した。また、新たな動物実験手技に関する教材の整備や英語による教育訓練の実施等、新たに動物実験従事者等の登録を行う者に対する初期教育訓練についても内容の充実を図った。

- (2) 実験動物飼育施設等の点検を実施し、施設及び設備が「実験動物の「飼育」、「保管」、「実験」施設に関わる要件（ガイドライン）」に適合し、適切に維持管理されていることを確認した。
7. 今後とも、教育訓練の充実及び動物実験施設の点検に努めるとともに、各事業所における自己点検・評価の結果を踏まえ、より適正な動物実験を遂行するために必要と考えられる方策を講じ、動物実験に携わる者への啓発を行うことが肝要と考える。

以上

#### 参考

1. 動物実験協議会協議員一覧
2. 平成21年度動物使用数

【別紙1】

平成21年度動物実験に係る実験計画の審査及び実施状況

1. 審査状況 (平成21年4月1日～平成22年3月31日実施分)

研究所	実施日	審査の別 開催/書面	実験計画審査件数			審査結果			所長により承認された件数
			新規	継続	変更	可とされた件数	修正・確認の上、可とされた件数	不可とされた件数	
和光研究所	H21. 5. 13	書面	1		15	16	0	0	16
	H21. 6. 18	書面	3		10	13	0	0	13
	H21. 7. 13	開催	0		5	5	0	0	5
	H21. 8. 20	書面	1		7	8	0	0	8
	H21. 9. 28	書面	1		5	6	0	0	6
	H21. 10. 19	書面	0		1	1	0	0	1
	H21. 11. 4	書面	3		10	12	1	0	13
	H21. 12. 15	書面	1		13	14	0	0	14
	H22. 1. 18	書面	0		2	2	0	0	2
	H22. 2. 3	書面	1		15	15	1	0	16
	H22. 3. 5	開催	13	32	10	54	1	0	55
	H22. 3. 30	書面	0		1	1	0	0	1
小計			24	32	94	147	3	0	150
播磨研究所 (和光動物実験審査委員会が所掌)	H21. 6. 18	書面	1		0	1	0	0	1
	H22. 3. 5	開催	1	1	0	2	0	0	2
	小計		2	1	0	3	0	0	3
筑波研究所	H21. 6. 29	開催	3	10	0	12	1	0	13
	小計		3	10	0	12	1	0	13
横浜研究所	H21. 4. 1	書面	0		3	3	0	0	3
	H21. 4. 22	書面	0		1	0	1	0	1
	H21. 5. 18	書面	0		1	1	0	0	1
	H21. 6. 2	書面	0		2	2	0	0	2
	H21. 6. 29	開催	0		1	1	0	0	1
	H21. 11. 11	書面	0		4	4	0	0	4
	H21. 11. 25	書面	0		1	1	0	0	1
	H21. 12. 7	書面	0		1	1	0	0	1
	H21. 12. 25	書面	0		1	1	0	0	1
	H21. 12. 25	書面	0		1	1	0	0	1
	H22. 1. 14	書面	0		1	0	1	0	1
	H22. 1. 20	書面	0		1	1	0	0	1
	H22. 2. 3	書面	0		1	1	0	0	1
	H22. 2. 15	書面	1		0	1	0	0	1
H22. 3. 3	開催		35		35	0	0	35	
小計			1	35	19	53	2	0	55
神戸研究所	H21. 4. 22	書面	2		3	4	1	0	5
	H21. 6. 3	書面	1		4	3	2	0	5
	H21. 7. 16	開催	3		8	8	3	0	11
	H21. 9. 29	書面	1		5	4	2	0	6
	H21. 10. 28	書面	1		4*	2	2	1*	4
	H21. 11. 4	書面	1*		0	0	1*	0	1
	H21. 12. 25	書面	1		5	1	5	0	6
	H22. 3. 1	書面	3		1	2	2	0	4
	H22. 3. 26	書面	15	38	7	44	16	0	60
小計		28	38	37	68	34	1	102	
総合計			58	116	150	283	40	1	323

※不可とされた変更申請一件は、新規申請として再審査（H21. 11. 4）した。

2. 実施状況

研究所	所長により承認されていた実験計画数	規程に基づき提出された報告書数	適正と認められた報告書の件数	改善を要した件数
和光研究所	140	140	140	0
播磨研究所	1	1	1	0
筑波研究所	13	13	13	0
横浜研究所	44	44	44	0
神戸研究所	78	78	78	0
総合計	276	276	276	0

動物実験に係る実験計画の審査及び実施状況について点検を行った結果、以上の通りであることを確認した。

※苦痛度については『動物実験処置の苦痛分類』動物実験協議会確認事項（平成18年12月8日）に基づき審査・承認。

【別紙2】

平成21年度動物実験に係る施設の審査及び管理状況

1. 審査状況

(平成21年4月1日～平成22年3月31日実施分)

研究所	実施日	審査の別 開催/書面	施設審査件数		審査結果			所長により承認された件数
			新規	変更	可とされた件数	修正・確認の上、可とされた件数	不可とされた件数	
和光研究所	H21. 5. 13	書面	2	8	10	0	0	10
	H21. 6. 18	書面	3	0	3	0	0	3
	H21. 7. 13	開催	2	0	2	0	0	2
	H21. 9. 28	書面	0	1	1	0	0	1
	H21. 11. 4	書面	1	1	2	0	0	2
	H21. 12. 15	書面	2	2	4	0	0	4
	H22. 3. 5	開催	3	20	22	1	0	23
小計			13	32	44	1	0	45
播磨研究所	H22. 3. 5	開催	2	0	2	0	0	2
	小計		2	0	2	0	0	0
筑波研究所	H21. 6. 29	開催	2	3	5	0	0	5
	小計		2	3	5	0	0	5
横浜研究所	該当なし							
	小計		0	0	0	0	0	0
神戸研究所	H21. 4. 22	書面	3	0	2	1	0	3
	H21. 7. 16	開催	3	2	4	1	0	5
	H22. 3. 1	書面	2	1	3	0	0	3
	H22. 3. 26	書面	1	1	2	0	0	2
	小計		9	4	11	2	0	13
総合計			26	39	62	3	0	63

2. 管理状況

研究所	所長により承認されていた飼育施設数	規程に基づき提出された報告書数	適正に管理されたと認められた報告書の件数	改善を要した件数
和光研究所	19	19	19	0
播磨研究所				
筑波研究所	6	6	6	0
横浜研究所	1	1	1	0
神戸研究所	5	5	5	0
計	31	31	31	0

動物実験に係る施設の審査及び管理状況について、点検を行った結果、以上の通りであることを確認した。  
 ※『実験動物の「飼育」、「保管」、「実験」施設に関わる要件(ガイドライン)』動物実験協議会確認事項(平成19年11月2日)に基づき審査・承認。

【別紙3】その1

平成21年度教育訓練実施状況

(平成21年4月1日～平成22年3月31日実施分)

研究所	対象者	実施回数	参加者数	内容	主催・担当
和光研究所	新規登録予定者	13	167	①規程等について ②動物福祉に関する事項 ③安全確保に関する事項 ④その他動物実験及び実験動物の取扱に関する基本的事項	動物実験監督者 安全管理部研究倫理課
	新規登録予定者 (外国人)	26	34		
	実験従事者・飼育技術者 (再教育訓練)	1	485		
	小計	40	686		
播磨研究所	新規登録予定者	2	5	①規程等について ②動物福祉に関する事項 ③安全確保に関する事項 ④その他動物実験及び実験動物の取扱に関する基本的事項	動物実験監督者 安全管理室
	小計	2	5		
筑波研究所	新規登録予定者	20	50	①規程等について ②動物福祉に関する事項 ③安全確保に関する事項 ④その他動物実験及び実験動物の取扱に関する基本的事項	動物実験監督者 実験動物開発室長 飼育管理者 安全管理室
	新規登録予定者 (外国人)	3	3		
	実験従事者・飼育技術者 (再教育訓練)	7	215		
	小計	30	268		
横浜研究所	新規登録予定者 (横浜研究所)	13	80	①動物福祉に関する事項 ②安全確保に関する事項 ③その他動物実験及び実験動物の取扱に関する基本的事項	動物実験監督者 安全管理室
	新規登録予定者 (外国人)	10	10		
	再教育訓練(実験従事者・飼育技術者全員)	1	285	①動物福祉に関する事項	動物実験監督者 安全管理室
	小計	24	375		
神戸研究所	CDB新規登録予定者	22	43	①動物規程(承認フローと委員会構成) ②遺伝子組換え実験、有害物質等を用いる実験	動物実験監督者 安全管理室
	CDB再教育訓練(実験従事者・飼育技術者全員)	1	217		
	CMIS新規登録予定者	10	40	③感染症コントロールについて ④動物施設利用法(飼育マニュアル)について	動物実験監督者 安全管理室
	CMIS再教育訓練(実験従事者・飼育技術者全員)	1	72		
	小計	34	372		
総合計		130	1706		

教育訓練に係る実施状況について、点検を行った結果、以上の通りであることを確認した。

※規程第30条(教育訓練等)の規定に基づき実施。

【別紙3】その2

平成21年度動物実験従事者／飼育技術者登録状況

(平成22年3月31日現在)

研究所	登録者数	内訳	
		実験従事者	飼育技術者
和光研究所	809	724	85
播磨研究所	19	19	
筑波研究所	227	149	78
横浜研究所	305	287	18
神戸研究所	377	353	24
合計	1,737	1,532	205

動物実験従事者／飼育技術者に係る登録状況について、点検を行った結果、以上の通りであることを確認した。

【別紙4】

平成21年度 動物実験審査委員会委員

研究所	構成	氏名	備考
和光研究所 (播磨研究所分も所管)	和光研究所の動物実験監督者	板倉 智敏	BSI研究基盤センター センター長
	和光研究所長が委嘱する研究所外の者 2名以内 (2事業年度以内)	布谷 鉄夫	財団法人 日本生物科学研究所 研究所長
		吉川 泰弘	東京大学 大学院農学生命科学研究科 教授
	和光研究所長が指名する研究所内の者 5名以内 (2事業年度以内)	矢野 栄二	健康管理室 室長
		辻本 雅文	ASI辻本細胞生化学研究室 主任研究員
		小嶋 総一	ASI分子リガンド研究チーム TL
		間 陽子	ASI川合表面化学研究室 専任研究員 (兼) 分子ウイルス学特別研究ユニット UL
		糸原 重美	BSI行動遺伝学技術開発チーム TL
総務部長	前川 治彦		
安全管理部長	矢野倉 実		
筑波研究所	筑波研究所の動物実験監督者	阿部 訓也	BRC 動物変異動態解析技術開発チーム TL
	筑波研究所長が委嘱する研究所外の者 2名以内 (2事業年度以内)	八神 健一	筑波大学 生命科学動物資源センター 教授
		小泉 利夫	つくば市環境保全部 次長
	筑波研究所長が指名する研究所内の者 5名以内 (2事業年度以内)	小林 喜美男	BRC マウス表現型解析開発チーム 開発技師
		土井 貴裕	BRC 生体応答情報技術開発サブチーム サブTL
		吉木 淳	BRC 実験動物開発室 室長
		若菜 茂晴	BRC マウス表現型解析開発チーム TL
	研究推進部長	加部 文和	(任期)平成21年6月1日～平成22年3月31日 (平成21年4月1日～平成21年5月31日については 穴戸博)
安全管理室長	加部 文和	(任期)平成21年6月1日～平成22年3月31日 (平成21年4月1日～平成21年5月31日については 穴戸博)	
横浜研究所	横浜研究所の動物実験監督者	古関 明彦	RCAI 免疫器官形成研究グループ GD
	横浜研究所長が委嘱する研究所外の者 2名以内 (2事業年度以内)	伊藤 豊志雄	財団法人 実験動物中央研究所 ICLASモニタリングセンター長代理
		外丸 靖浩	OSC LSA要素技術開発グループ 研究員
	横浜研究所長が指名する研究所内の者 5名以内 (2事業年度以内)	尾内 善広	CGM 循環器疾患研究チーム 上級研究員
		岩野 はるか	RCAI コーディネーター
		長谷川 孝徳	RCAI 免疫器官形成研究グループ 上級技師
研究推進部長	松尾 泰樹		
安全管理室長	天野 光一		
神戸研究所	神戸研究所(CDB)の動物実験監督者	相澤 慎一	CDB ボディプラン研究グループ GD
	神戸研究所(CMIS)の動物実験監督者	尾上 浩隆	CMIS 分子プローブ機能評価研究チーム TL
	神戸研究所長が委嘱する研究所外の者 2名以内 (2事業年度以内)	饗場 篤	東京大学大学院医学系研究科教授
		鍵山 直子	北海道大学大学院獣医学研究科特任教授
	神戸研究所長が指名する研究所内の者 5名以内 (2事業年度以内)	榎本 秀樹	CDB 神経分化・再生研究チーム TL
		佐々木 洋	CDB 胚誘導研究チーム TL
		中尾 和貴	CDB 動物実験支援ユニット UL
		池本 隆昭	CMIS 分子プローブ機能評価研究チーム 研究員
研究推進部長	穴戸 博		
安全管理室長	宮川 眞言		

各動物実験審査委員会委員の構成について点検を行った結果、文部科学省の動物実験基本指針第3の3に照らし、適切であることを確認した。

【参考1】

平成21年度動物実験協議会協議員

	氏名	職名	所属
議長	古屋 輝夫	理事 (安全管理担当)	理研
(1) 動物実験監督者	板倉 智敏	BSI 研究基盤センター長	理研 和光研究所(BSI)
	阿部 訓也	BRC 副センター長	理研 筑波研究所(BRC)
	古関 明彦	RCAI 免疫器官形成研究グループ ディレクター	理研 横浜研究所(RCAI)
	相澤 慎一	CDB 副センター長	理研 神戸研究所(CDB)
	尾上 浩隆	CMIS 分子プローブ機能評価研究 チーム チームリーダー	理研 神戸研究所(CMIS)
(2) 動物実験審査委員会委員(前号のものを除く)のうちから所長が推薦するもの各1名	辻本 雅文	基幹研究所 主任研究員	理研 辻本細胞生化学研究室
	八神 健一	基礎医学系教授/筑波大学生命科学動物資源センター長	国立大学法人 筑波大学
	伊藤 豊志雄	ICLASモニタリングセンター長代理	財団法人 実験動物中央研究所
	鍵山 直子	大学院獣医学研究科特任教授	国立大学法人 北海道大学
(3) 研究所内外の有識者等のうちから、理事長が指名又は委嘱する者 4名以内	島田 壽子	弁護士	協和総合法律事務所
	林 良博	大学院農学生命科学研究科教授	国立大学法人 東京大学
	小幡 裕一	BRC センター長	理研 筑波研究所(BRC)
	矢野 栄二	総括産業医	理研
(4) 総務部長	前川 治彦	部長	総務部
(5) 健康管理室長	塩原 英喜	室長	健康管理室
(6) 安全管理部長	矢野倉 実	部長	安全管理部



【参考2】

平成21年度実験動物使用数

(集計期間：平成21年4月1日～平成22年3月31日)

マウス	ラット	ウサギ	ハムスター	スンクス	デグー	ハダカ デバネズミ	ネコ	サル (マカク)	サル (マーモセット)	フィンチ等 の鳥類	ウズラ・ニワ トリ	爬虫類
633,490	5,484	358	6	50	84	25	38	36	24	857	158	72

・数字は、実験計画を遂行する過程で安楽死処置した動物の数